

令和7年関川村議会10月（第9回）臨時会議会議録（第1号）

○議事日程

令和7年10月20日（月曜日） 午前10時 開会

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 諸般の報告

第 3 議案第73号 令和7年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第3号）

○本日の会議に付した事件

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 諸般の報告

第 3 議案第73号 令和7年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第3号）

○出席議員（7名）

| | | | | | |
|-----|-----|-------|----|-----|-------|
| 1番 | 小 澤 | 仁 君 | 2番 | 加 藤 | つや子 君 |
| 4番 | 近 敬 | 志 君 | 5番 | 近 壽 | 太郎 君 |
| 7番 | 高 橋 | 正 之 君 | 8番 | 菅 原 | 修 君 |
| 10番 | 鈴 木 | 紀 夫 君 | | | |

○欠席議員（3名）

| | | | | | |
|----|-----|-------|----|-----|-------|
| 3番 | 川 崎 | 哲 也 君 | 6番 | 加 藤 | 和 泰 君 |
| 9番 | 平 田 | 広 君 | | | |

○地方自治法第121条の規定により出席した者

| | |
|---------|-------------|
| 村 長 | 加 藤 弘 君 |
| 教 育 長 | 津 野 庄 一 郎 君 |
| 政 策 監 | 野 本 誠 君 |
| 総 務 課 長 | 渡 邊 浩 一 君 |
| 健康福祉課長 | 田 村 清 洋 君 |
| 健康福祉課参事 | 須 貝 博 子 君 |

○事務局職員出席者

議会事務局長

河 内 信 幸

議会事務局主幹

小 池 由 美 子

午前１０時００分 開 会

○議長（小澤 仁君） ただいまの出席議員は７名です。

定足数に達していますので、これより令和７年関川村議会１０月（第９回）臨時会議を開会します。

加藤和泰さん、川崎哲也さん、平田 広さんから欠席の届出がありました。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

議事進行によりしくご協力をお願いします。

例規集等の閲覧のため、議員及び執行部の皆さんにのみ、議場におけるタブレット端末等の使用を許可します。

日程第１、会議録署名議員の指名

○議長（小澤 仁君） 日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会議の会議録署名議員は、会議規則第１２７条の規定によって、５番、近 壽太郎さん、７番、高橋正之さんを指名します。

日程第２、諸般の報告

○議長（小澤 仁君） 日程第２、諸般の報告を行います。

地方自治法第１９９条第９項の規定により、定例監査の結果報告書及び地方自治法第２３５条の２第３項の規定により、令和７年度８月分の例月出納検査の結果報告書が提出されています。議員控室に保管していますので、ご覧ください。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第３、議案第７３号 令和７年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第３号）

○議長（小澤 仁君） 日程第３、議案第７３号 令和７年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第３号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。村長。

○村長（加藤 弘君） 本日は、臨時会議をお願いいたしましたところ、議員の皆様におかれましてはお忙しいところご出席を賜り、大変ありがとうございます。

このたびは、役場庁舎の設備工事の全面改修ということで、それに伴いまして会場が変更になりました。ご迷惑をかけておりますが、ご理解ご協力いただきまして、大変ありがとうございます。

さて、お諮りいたします議案第７３号は、令和７年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第３号）でございます。

長年勤務をいただきました診療所の医師が、令和8年3月末をもって退職をされることになりました。これに伴いまして、取り急ぎ、新たな医師を確保する必要がありますので、その経費を補正するものでございます。

詳細につきまして、健康福祉課参事に説明をさせます。

○議長（小澤 仁君） 健康福祉課参事。

○健康福祉課参事（須貝博子君） では、議案第73号 関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算案（第3号）についてご説明させていただきます。

301ページをご覧ください。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ40万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億400万円とするものです。

歳出からご説明します。

305ページをご覧ください。

1款1項1目一般管理費の8節旅費につきましては、後任の先生の募集活動のために、行き先は現在未定でございますが、大学等を訪問することなどができるように20万円の計上をお願いするものです。

11節役務費につきましては、医学週刊誌に求人広告を掲載するために、5か月分としまして20万円を計上させていただくものです。

次に、歳入をご説明いたします。

304ページをご覧ください。

今回の補正の財源としまして、前年度繰越金を40万円を充てるものです。

説明は以上でございます。

○議長（小澤 仁君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。10番、鈴木さん。

○10番（鈴木紀夫君） 10番、鈴木です。

今、診療所の医師が3月で退職すると。私も前回の広報で医師の募集と、あと診療所で医師の退職に対する事項が貼られていたということで非常にびっくりしたんですけども、今回のこの理由というのは、定年とかそういったものではなくて、何か理由というのはあるんですか。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。健康福祉課参事。

○健康福祉課参事（須貝博子君） 定年ではございません。一身上の都合ということで承っております。

○議長（小澤 仁君） 答弁を終わります。10番、鈴木さん。

○10番（鈴木紀夫君） 一身上の都合ということは、具体的な理由は聞いていないということですか。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。村長。

○村長（加藤 弘君） 先日、平田先生とお会いをしまして、先生の方から一身上の都合で退職をしたいというお話がございました。我々の対応が悪いのか、あるいはどこに問題があるのかということに気にしていたんですけれども、具体的な中身はプライベートなことになりますけれども、お聞きをしまして、私としてはやむを得ないなという判断をしたということで、あくまでもプライベートの問題、一身上の都合ということでご説明させていただきたいと思います。

○議長（小澤 仁君） これで答弁を終わります。10番、鈴木さん。

○10番（鈴木紀夫君） 旅費ということで20万円、大学へ足を運んで募集をかけるというような説明でしたけれども、具体的に、自治医大だとかそちらの方において、実際学生とかに募集をかけるということでしょうか。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。健康福祉課長。

○健康福祉課長（田村清洋君） 行き先といたしましては、特に固定はしておりませんが、自治医大も選択肢の一つと考えております。その中で、学生ということも視野には入れておりますが、経験のある、その他の医療機関でやられている方で地域医療に関心のある方という形でお願いして進めたいと思っております。

○議長（小澤 仁君） 答弁を終わります。10番、鈴木さん。

○10番（鈴木紀夫君） 自治医大ですと県がお金を出して学生を協力しているような機関ということで、県の方でお願いするようなことも可能かと思うんですけれども、その辺はできないんでしょうか。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。健康福祉課長。

○健康福祉課長（田村清洋君） 新潟県からの依頼という形というご質問につきまして、我々の方ではちょっと視野には入れていませんでした。我々が動くものと思っていたんですが、ご指摘をいただいたので、今後新潟県の方とも話し合いをしていきたいと思っております。

○議長（小澤 仁君） 答弁を終わります。10番、鈴木さん。

○10番（鈴木紀夫君） 3月末で退職ということで、新しく4月1日から就任されるということだと思っておりますけれども、万が一、3月までに決まらなかった場合、こういった形になるんでしょうか。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。健康福祉課長。

○健康福祉課長（田村清洋君） 一応、4月1日までに医師を準備するようにはしておりますが、万が一の場合は、以前ですと他の医療機関の医師の先生の方に来ていただいたりとか、そのようなこともございます。ですが、まずは新しい医師に勤務していただけることを最優先で進めております。

○議長（小澤 仁君） 答弁を終わります。2番、加藤つや子さん。

○2番（加藤つや子君） 今現在、通院されている患者さんの中で、よそに紹介してくださいという

患者さんもいらっしゃると思うんですけれども、その場合、患者さんの減数が見込まれると思いますが、今後、人口減少に伴って、診療所の運営を考えていった場合に、多額の医療器具の購入もありますし、佐藤医院もやっておりますけれども、診療所を今後どのように運営していくか、将来的構想を聞かせていただきたいと思います。

○議長（小澤 仁君） 答弁を求めます。村長。

○村長（加藤 弘君） ありがとうございます。おっしゃるとおり、人口がどんどん減少しているのは現実でございますけれども、高齢者の数が急激に減っているわけではなく、子供たちの数が今減っているという状況です。では、例えば内科については佐藤医院で賄えるかという、今の現状では多分、診療所がなくなって、それを全部佐藤医院で面倒を見てもらうというのは厳しい状況かなと思います。

診療所の中で、平田先生の専門が整形ですが、今は整形の患者さんもおられるということで、整形については今の先生が退職なさると多分難しいだろうなと。そういう方については、患者さんには他の医療機関に転院されることを今も多分お勧めしていると思いますし、内科については佐藤医院で持ってもらえる部分についてはそちらに行くことになろうかと思いますが、それだけでは現状難しいということで、どこまで診療所の機能をこれから持たせるかということは、これから確保する医師がどういう勤務になるかということもございますけれども、いずれは診療所自身も厳しい状況になると思いますから、やみくもに人件費を増やしたり設備を購入していく状況には今はないのかなと考えているところです。

○議長（小澤 仁君） 答弁を終わります。そのほか質疑ありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（小澤 仁君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっています議案第73号については、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小澤 仁君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第73号については委員会付託を省略します。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（小澤 仁君） 討論なしと認めます。

これより議案第73号を採決します。

お諮りします。本案について原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小澤 仁君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第73号は原案のとおり可決されました。

○議長（小澤 仁君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

大変お疲れさまでした。

午前10時13分 散 会

地方自治法第123号第2項の規定によりここに署名する。

令和7年 月 日

関川村議会議長

議 員

議 員